



芝山小だより



11月号

清瀬市立芝山小学校

校長 榎並 みな子

## すてきな姿

校長 榎並 みな子

10月28日（火）に開催となった運動会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、感謝申し上げます。また、子供たちへの温かくも大きな声援をお送りくださり、ありがとうございました。11月には、展覧会を予定しております。ぜひご来校いただき、子供たちの思いの詰まった作品をご覧ください。

さて、運動会でもとてもすてきな姿を見せてくれた子供たち。次の日の10月29日（水）にも、子供たちのすてきな姿を見ることができました。それは、1、2年生の稲荷山公園への遠足でのことです。

電車での移動は、できれば座っていたいものです。また、楽しくなつてついおしゃべりに夢中になったり、他の友達のところへ行ってみたりと落ち着かなくなってしまうがちですが、そのようなことはほとんどありませんでした。思いのほか空いていましたので、多くの子供たちが座ることができました。立っていた子に空いている場所があることを教えてあげるなど、子供たち同士で声を掛け合う仲間思いの姿がありました。

稲荷山公園の芝生広場では、レクリエーションを行い、1、2年生合同のグループで行動しました。2年生がスタンプラリーカードを持ち、1年生の子たちをリードしながら先生たちが立っているポイントを探しました。ポイントでは、グループのみんなで協力しながらクイズなどに答えてシールをゲットします。芝生広場はとても広いので、少し距離ができてしまうと2年生の子が1年生の子に寄り添いながら歩く姿がありました。

昼食の時間には、グループで「いただきます！」をして、みんなニコニコ笑顔でお弁当を食べ、終わった子からおやつも楽しみました。片付けの際には、お菓子の袋を開けた時の小さなごみがいくつか落ちていたので、拾いながら「ごみが落ちてるよ。」と伝えると、「それ、私の。」と言って受け取り、自分のごみ袋に入れていました。そのような子は一人ではありません。「自分のごみは自分で持ち帰る。」は、当たり前のこととはいえ、小さなごみ一つでも自分のものとして片付けることができるのは、とても素晴らしいことだと思います。正直申し上げますと、「ごみが落ちてるよ。」と声をかけた時に、「私のじゃない。」と返ってくるのではとってしまった自分を恥ずかしく思いました。真っ直ぐで素直な心をもつ子供たちから学んだ一日となりました。きっと、次に稲荷山公園の芝生広場で遊ぶ人たちも気持ちよく過ごしてくれていることと思います。

子供たちは、「マナーを守る」「仲間を大切にする」「下の学年の子に優しく接する」「みんなが使う場所を大切にする」等、これからも様々な学習活動や行事を通して学び、自分で考え判断し、行動する力や人と関わる力を付けていきます。